

令和4年度 第2回

芦屋市総合交通戦略推進会議

資料

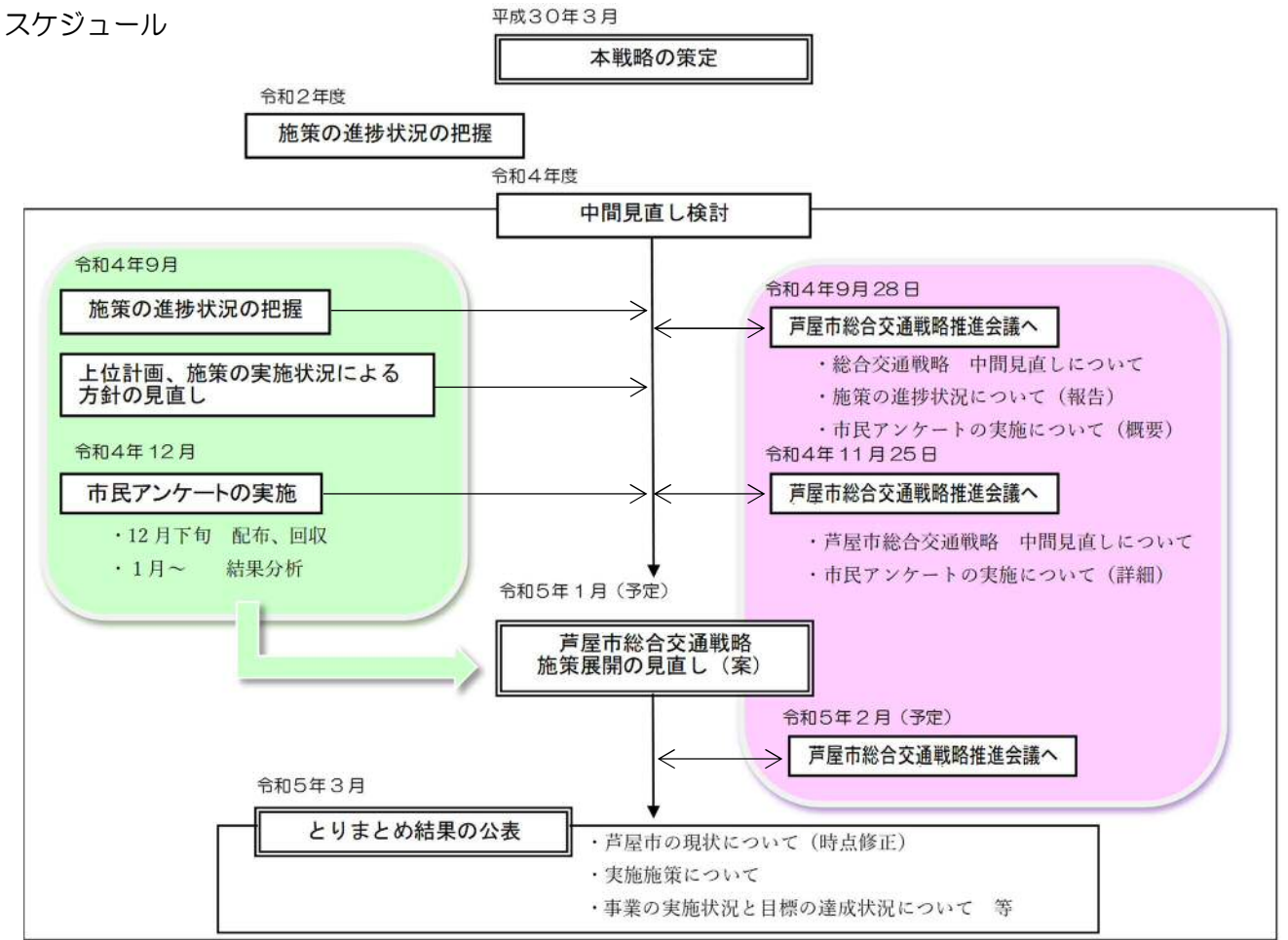
令和4年11月25日(金)
芦屋市

(1) 芦屋市総合交通戦略 中間見直しについて

目次

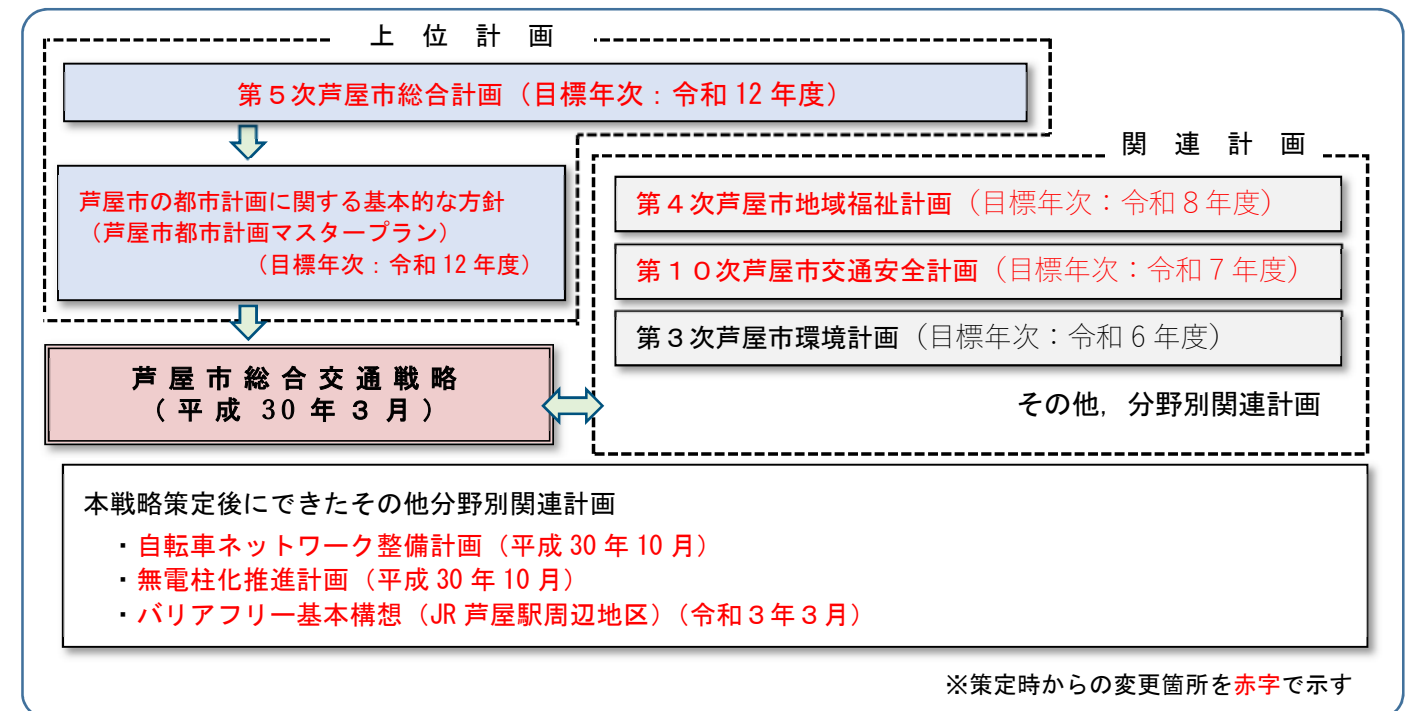
- 1 スケジュール
- 2 将来像と基本方針
 - (1) 上位計画・関連計画について
 - (2) 上位計画の改正点の整理
 - (3) 芦屋市の現状と取り巻く環境の変化
 - (4) 将来像について
 - (5) 基本方針について
- 3 施策体系について
- 4 評価指標及び目標値について

1 スケジュール



2 将来像と基本方針

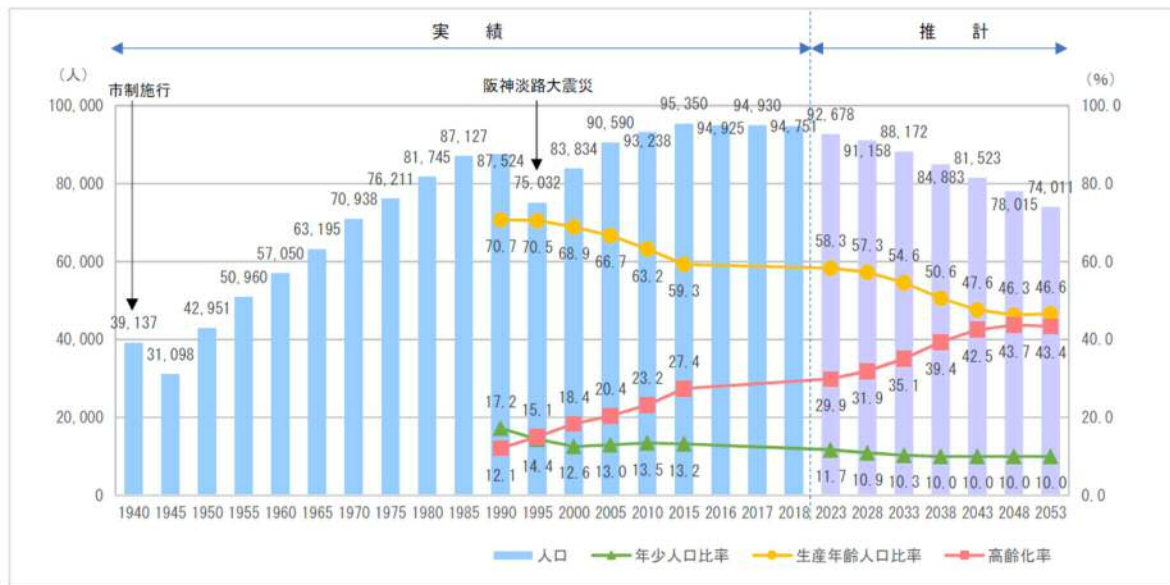
(1) 上位計画・関連計画について



(2) 上位計画の改正点の整理

上位計画・関連計画	交通戦略策定時（平成 30 年 3 月）	中間見直し時（令和 5 年 3 月）	改定のポイント（交通に係るもの）
総合計画	第 4 次（策定年次：平成 23 年 3 月（平成 24 年 3 月、29 年 3 月に改訂）、目標年次：平成 32 年度（令和 2 年度））	第 5 次（策定年次：令和 3 年 9 月、目標年次：令和 12 年度）	<p>【基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな課題による価値観の変化にも柔軟に対応し、ICT などの技術も活用しながら時代に応じた取組を進める <p>【施策目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR 芦屋駅南地区再開発事業の推進 ・市街地における道路ネットワーク機能の形成、充実 都市計画道路（稲荷山線、山手線）の整備、阪神電気鉄道の立体交差、山手第 1・2 地区の面的整備、阪急芦屋川駅周辺の交通結節点機能整備について調査・研究を重ね、検討を進める ・自転車ネットワーク計画の推進
	<p>【基本方針等】</p> <p>■将来像 自然とみどりの中で絆を育み，“新しい暮らし文化”を創造・発信するまち</p> <p>■まちづくりの基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人と人がつながって新しい世代につなげる ・人々のつながりを安全と安心につなげる ・人々のまちを大切に作る心や暮らし方をまちなみにつなげる ・人々と行政のつながりをまちづくりにつなげる 	<p>【基本方針等】</p> <p>■将来像 人がつながり 誰もが輝く 笑顔あふれる住宅都市</p> <p>■基本方針 未来の創造 ～ 持続可能な心弾むまちを未来へつなぐデザイン</p> <p>■基本補威信を構成する 3 つの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人のつながり ～時代に適い、多様に紡がれるネットワーク ・暮らしやすさ ～地域に包まれ安らぎを感じる暮らし ・資源 ～地域資源を生かし、空間を活用する、これまでとこれからの融合 	
	<p>【交通に関する施策目標等】</p> <p>■目標とする 10 年後の芦屋の姿（都市・交通と関わるものを抜粋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通ルールやマナーに関する意識が高まっている ・公共施設などのバリアフリー化が進んでいる ・市内を安全かつ快適に移動できる ・良質なすまいづくりが進んでいる ・住宅都市としての機能が充実している ・市内の商業が活性化し、市内の利便性も向上している 	<p>【交通に関する施策目標等】（都市・交通と関わるものを抜粋）</p> <p>■施策目標「日常の安全安心が確保されている」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通ルールを守る意識を高め、歩きやすいまちとなるよう取り組みます <p>■施策目標「住宅都市の魅力が受け継がれ、高められている」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の価値を高める公共空間の活用を進めます（ユニバーサルデザインの推進等） <p>■施策目標「持続可能なインフラ整備が進んでいる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な交通インフラを保全します（道路・橋梁） ・市内交通の円滑化に向けて取り組みます 	
都市計画 マスタープラン	策定年次：平成 17 年 3 月、目標年次：平成 32 年度（令和 2 年度）	策定年次：令和 3 年 6 月、目標年次：令和 12 年度	<p>【改定の視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期的な人口減少、少子高齢化を見据え、都市施設等の適切な管理や更新等により、都市の活力や生活利便性の更なる向上を図り、持続可能な都市づくりを進める <p>【まちづくりの目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマート社会に対応するための新技術導入の検討 ・あらゆる自然災害に対応できる都市づくりの推進 ・回遊できる都市空間づくりの推進 ・新しい生活様式への対応
	<p>【基本方針等】</p> <p>■まちづくりの理念 美，快，悠のまち 芦屋</p> <p>■まちづくりの方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「美」緑豊かな自然と調和した美しく快適なまちづくり ・「快」人にも環境にも優しい，住みよいまちづくり ・「悠」優れた市民文化が息づく，成熟したまちづくり 	<p>【基本方針等】</p> <p>■まちづくりの理念 美，快，悠のまち 芦屋</p> <p>緑豊かな高質な都市空間を実現し、人にも環境にもやさしく、文化を育む活力ある国際文化住宅都市を目指します</p>	
	<p>【交通に関する施策目標等】</p> <p>■まちづくりの施策的目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成熟都市にふさわしい市民文化に根ざしたまちづくり ・快適で安心できる都市空間の形成 ・自然環境の保全と芦屋庭園都市宣言の推進 ・魅力ある高質な都市空間の形成 ・すべての人に優しいユニバーサルデザインのまちづくり ・市民と行政との協働による芦屋らしいまちづくり 	<p>【交通に関する施策目標等】</p> <p>■まちづくりの目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会変化に対応した快適な都市空間づくり（スマート社会に対応するための新技術の導入検討など） ・安心して住み続けられる良好な住環境づくり ・環境にやさしく潤いのある都市づくり ・個性と魅力ある高質な都市空間づくり ・人とのつながりや交流を育むまちづくり 	

(3) 芦屋市の現状と取り巻く環境の変化（総合計画より一部抜粋）



資料：国勢調査（1940～2015）、住民基本台帳（2016、2017、2018）各年10月1日現在、芦屋市推計（2023～2053）

社会的潮流

<p>価値観の変化・多様化</p> <p>働き方改革 子育て環境の変化 SDGs等持続可能性の重視 所有からシェア など</p>	<p>災害等のリスクの高まり</p> <p>地球温暖化の進行 南海トラフ巨大地震の懸念 集中豪雨等異常気象の頻発 新たな感染症の流行 など</p>
<p>グローバル化</p> <p>混住化の進行 技術革新の誘発 文化の交流 産業の空洞化 など</p>	<p>デジタル化</p> <p>Society5.0の実現 ICTやAIの進展 自動運転技術やIoTの発達 など</p>

人口減少
+
少子高齢化

(4) 将来像について

改定された上位計画や芦屋市の現状、取り巻く環境の変化等を確認した結果、本戦略の将来像（基本理念）は、策定時のまま引き継ぐこととする。

【将来像（基本理念）】

良好な住宅都市としての魅力を高める
安全・安心で快適に移動できるまちづくり

(5) 基本方針について

＜基本方針1＞ 安全・安心で移動しやすい交通環境

徒歩、自転車、自動車、公共交通がそれぞれの役割分担のもと、だれもが安全で安心して移動することができる交通環境の構築を図ります。

特に、今後高齢化が進行していく中で、高齢者などが容易に外出や生活ができるよう、安全に配慮した道路空間の整備を行うとともに公共交通利用の支援や促進、また交通に対する利用者のマナーや意識の向上を図ります。

新たに盛り込む視点

- ・自然災害への対応（都市基盤の整備や災害に強い都市づくり）

＜基本方針2＞ まちの魅力を高め都市活力を支える交通環境

都市の拠点となる駅周辺の整備などにより、都市機能を充実させるとともに、駅へのアクセス性向上を図ることで、近隣都市をはじめ広域的な移動手段として速達性が高い鉄道のより快適な利用環境を構築し、交通便利性の高い住宅地としての魅力を高めます。

また、交通ネットワークの充実や、公共交通利用環境の向上など、移動環境の構築を図ることで、地域間での交流機会を創出し、市内全体の活性化を促進します。

新たに盛り込む視点

- ・情報通信技術（ICT）や人工知能（AI）などの進展（交通情報の提供への活用）

＜基本方針3＞ 高質で快適な暮らしを実感できる交通環境

環境への配慮や、景観にも調和した道路空間を整備することなどで、快適な住環境にも資する移動環境の構築を図り、芦屋らしいまちの魅力を高めます。

また、六甲山系や芦屋川などの自然環境や史跡、歴史的建造物といった本市の魅力資源を活用したネットワークの形成により、市民・来訪者が心地よく散策できるなど、市内の回遊性を高めます。

新たに盛り込む視点

- ・価値観の変化や多様化への対応、新しい生活様式への対応
- ・情報通信技術（ICT）や人工知能（AI）などの進展（交通情報の提供への活用）
- ・地球環境への配慮（脱炭素社会の実現）
- ・回遊できる都市空間づくりの推進

3 施策体系について

将来像	基本方針	施策の方向性	施策	
良好な住宅都市としての魅力を高める安全・安心で快適に移動できるまちづくり	1 安全・安心で移動しやすい交通環境	1-① 安全な通行空間の整備	歩道設置路線のバリアフリー化 防護柵の改修 通学路の安全対策 歩行者・自転車に配慮した道路空間の整備	
		1-② 安全な自転車利用環境の整備	自転車の安全利用の推進 自転車ネットワーク計画の策定 自転車走行環境の整備・自転車ネットワークの形成 放置自転車等の撤去	
		1-③ 安全・安心への意識の啓発	交通安全教育の推進 自転車の安全利用の推進【再掲】	
		1-④ 安全な都市基盤の整備	道路・橋りょう等の長寿命化対策 生活道路等の整備 無電柱化の推進 鉄道施設総合安全対策事業（豪雨対策事業）	
		1-⑤ 人にやさしい交通環境の充実	歩道設置路線のバリアフリー化【再掲】 公共交通利用支援 バリアフリー対応車両の拡充 運転免許返納制度の周知・推進 モビリティ・マネジメントの推進 鉄道駅バリアフリー料金制度の導入	
	2 活かすまちの魅力を高める交通環境	2-① 鉄道駅へのアクセス性・利便性向上	JR 芦屋駅周辺の整備 阪神打出駅周辺の整備等の検討 阪神芦屋駅周辺の整備 阪急芦屋川駅周辺の整備等の検討	
		2-② 交通ネットワークの充実	バス路線の再編・利便性の向上 既存の公共交通等を補完する施策の検討 都市施設等の整備の検討 芦屋川沿岸の一方通行化の検討 阪神電気鉄道の立体交差についての調査、研究	
		2-③ 公共交通利用環境の向上	バス待合環境の向上 バリアフリー対応車両の拡充【再掲】 公共交通の利便性向上 公共交通運行情報の提供 公共交通に関する情報の提供（運行や沿線の情報）	
		3 高質で快適な交通環境	3-① 環境・景観に配慮した交通施策の推進	低公害車の普及促進 無電柱化の推進【再掲】 街灯のLED化 「ノーマイカーデー」運動の推進 モビリティ・マネジメントの推進【再掲】
			3-② 快適な移動環境により回遊性を高める施策の推進	まちあるきを楽しむ情報の発信 自転車ネットワーク計画の策定 自転車走行環境の整備・自転車ネットワークの形成【再掲】 歩行者・自転車に配慮した道路空間の整備【再掲】 案内誘導サインの整備 休憩施設の設置

4 評価指標及び目標値について

		策定時に設定したもの			
評価指標		策定時 (年次)	目標値 (中間年次)	中間 (年次)	目標 (最終年次)
直接的な指標	歩道切下げ部のバリアフリー化率	38.1% (H28)	49.4% (R5)	43.3% (R4)	44.2% (R5)
	防護柵の改修率	82.0% (H28)	91.4% (R5)	83.7% (R4)	84.0% (R5)
	無電柱化率	12.4% (H28)	14.1% (R5)	15.4% (R4)	14.1% (R5)
	街灯のLED化率	31.0% (H28)	100% (R5)	71.6% (R4)	78.1% (R5)
間接的な指標	「今の場所に住みたい」「市内の他の場所で住みたい」と回答した割合	84.6% (H26)	90.0% (R2)	— (※1)	—
	鉄道駅利用者数(市内全駅の総数)	111千人/日 (H28)	111千人/日 (R5)	93.8千人 (R2)	維持(※2)
	バス利用者数(阪急バス)	6,609千人/年 (H28)	6,609千人/年 (R5)	5,481千人 (R3)	維持(※2)
	自転車に関わる事故件数	251件/年 (H26)	188件/年 (R2)	107件/年 (R3)	82件/年 (R7)
	交通事故死傷者数	407人 (H26)	300人 (R2)	315人/年 (R3)	300人/年 (R7)
	市内の交通環境への意識(交通環境がよくなったと感じる人の割合)			●●%	(※3)

※1 「今の場所に住みたい」「市内のほかの場所で住みたい」と回答した割合については、第5次総合計画策定時の市民意向調査において本項目が継続されていないことため。

※2 鉄道駅及びバスの利用者数については、新たに数値目標を掲げるのではなく、中間年次における水準を維持することを目標とする。

※3 新たに設ける指標については、実施予定の市民アンケートの結果により、目標を設定する。

(2) 市民アンケートの実施について

問4 市内の交通環境に対する皆さんの意識をお尋ねします。



1)この5年程度で、市内の交通環境がよくなったと感じますか。どちらか1つ、お選びください。

- ①どちらかといえばよくなった ②どちらかといえば悪くなった

具体的によくなった点や悪くなった点があれば、お書きください。

2)市内の交通環境について感じていることをご自由にお書きください。

問5 あなたご自身についてお答えください。



〈年齢〉

- ①20歳未満 ②20～29歳 ③30～39歳 ④40～49歳 ⑤50～59歳
⑥60～64歳 ⑦65～69歳 ⑧70～74歳 ⑨75歳以上

〈居住地〉※街区番号までお答えください

芦屋市（ ）町（ ）番

〈職業〉

- ①営業主・自由業（弁護士・開業医・個人教師等）等 ②正社員・パート・アルバイト・派遣社員等
③専業主婦・主夫 ④学生 ⑤無職 ⑥その他（ ）

〈家族構成〉

- ①単身 ②夫婦のみ ③親と子（2世代、自分が親） ④親と子（2世代、自分が子）
⑤親、子、孫（3世代、自分が親） ⑥親、子、孫（3世代、自分が子）
⑦親、子、孫（3世代、自分が孫） ⑧その他（ ）

〈車の保有〉

- ①自分が自由に利用できるクルマがある ②家族で利用できるクルマがある
③世帯にクルマはない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。



交通に関するアンケート調査へのご協力のお願い



市民の皆様には、日頃より市政にご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。

芦屋市では平成29年度（2017年度）に「誰もが快適に移動できる交通環境づくりを目指し、交通事業とまちづくりが連携した取組を推進すること」を目的として芦屋市総合交通戦略を策定し、さまざまな交通施策に取り組んでまいりました。計画策定から5年が経過し、これまでの取り組みの評価を行うとともに、交通環境等の変化を踏まえた戦略の中間見直しを行うこととなりました。

本アンケート調査は、芦屋市にお住まいの方の交通に関する意向を聞き取り、今後の交通施策へと反映させることを目的として、令和4年（2022年）11月1日現在、市内にお住まいの中学生以上の方の中から無作為に抽出した3,000人の方を対象に実施させていただきます。

回答は個人が特定されないよう統計的に処理を行い、調査結果は、ホームページ等で一部公表する予定です。お忙しいところ恐れますが、本アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

令和4年（2022年）12月 芦屋市

【ご回答にあたってのお願い】

次の2つの方法からいずれかをお選びいただき、**12月23日(金)**までに回答をお願いします。

1 アンケート用紙（次ページより）で回答

- (1) 封筒の宛名に記載されている方が、次ページからのアンケートにご回答ください。
（ご本人が記入しにくい場合は、同居のご家族や介助者の方の代筆をお願いします。）
(2) 黒のボールペン又は黒い鉛筆でご記入ください。
(3) お答えは、「あてはまるもの1つに○」などの表記に従って、ご記入ください。
(4) ご記入いただいたアンケートは、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、ポストにご投函ください。

2 インターネットで回答

- (1) 別紙「インターネットでご回答される方へ」をご覧ください、ご回答ください。

※この調査資料の利用にあたっては、芦屋市個人情報保護条例の規定に基づき適正に行います。
調査に関する問合せは、下記までお願いいたします。

芦屋市 都市建設部 都市計画課 TEL 0797-38-2073 / FAX 0797-38-2164

これは芦屋市の交通についてのアンケート調査票です。ふりがな付きのアンケート調査票が
必要な場合は、ご連絡ください。

芦屋市 都市建設部 都市計画課 e-mail : toshikeikaku@city.ashiya.lg.jp

〈Survey on the Community Development in Ashiya City〉

If you need a Japanese with furigana version of the questionnaire, please contact the office below:
Ashiya City Urban Planning Section e-mail : toshikeikaku@city.ashiya.lg.jp

問1 あなたが普段移動する中での目的や移動手段についてお尋ねします。

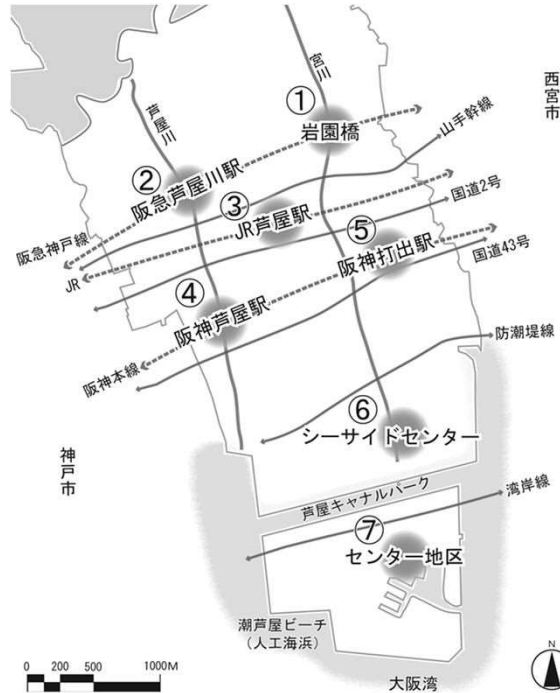


1) 日常の外出についてお答えください。(頻度が高いものから2つ)

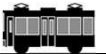
移動の目的 (1つ選んで○)	行き先 (1つ選んで○)	交通手段 (あてはまるもの全てに○)
1つ目 ①通勤・通学 ②日常的な買物 ③通院 ④趣味・娯楽・レジャー ⑤その他	①市外 ②市内 【具体的な場所をお答えください】 ①岩園橋周辺 ②阪急芦屋川駅周辺 ③JR芦屋駅周辺 ④阪神芦屋駅周辺 ⑤阪神打出駅周辺 ⑥シーサイドセンター周辺 ⑦センター地区(潮芦屋)周辺 ⑧その他()	①徒歩 ②自転車 ③路線バス ④鉄道(阪急芦屋川駅) ⑤鉄道(JR芦屋駅) ⑥鉄道(阪神芦屋駅) ⑦鉄道(阪神打出駅) ⑧鉄道(その他: 駅) ⑨タクシー ⑩バイク ⑪クルマ(自分で運転) ⑫クルマ(送迎してもらう) ⑬その他()
2つ目 ①通勤・通学 ②日常的な買物 ③通院 ④趣味・娯楽・レジャー ⑤その他	①市外 ②市内 【具体的な場所をお答えください】 ①岩園橋周辺 ②阪急芦屋川駅周辺 ③JR芦屋駅周辺 ④阪神芦屋駅周辺 ⑤阪神打出駅周辺 ⑥シーサイドセンター周辺 ⑦センター地区(潮芦屋)周辺 ⑧その他()	①徒歩 ②自転車 ③路線バス ④鉄道(阪急芦屋川駅) ⑤鉄道(JR芦屋駅) ⑥鉄道(阪神芦屋駅) ⑦鉄道(阪神打出駅) ⑧鉄道(その他: 駅) ⑨タクシー ⑩バイク ⑪クルマ(自分で運転) ⑫クルマ(送迎してもらう) ⑬その他()

2) 現在の移動について、不安や不満がありますか。あればお書きください。

(記入例: 歩道が狭い、坂道が多い、運賃が高い、駅までが遠い、バスの本数が少ない、タクシー待ちが長い、家族等に送迎を頼むのが申し訳ない、駐輪場が使いにくい、交通マナーが悪い、乗り方がよくわからない、案内がわかりにくい…等)



問2 おおむね10年後のあなたの将来を想像してお答えください。



1) 将来の移動について不安や困ることはありますか。あれば下記にお書きください。

(記入例: 免許返納や車を手放し交通手段がない、徒歩での移動が困難になる、新たに車が必要、運賃が高い、鉄道やバスの便や路線の減…など)

2) その不安や困りごとをどうしようと思いますか。

(記入例: 親族に送迎してもらう、駅や商業施設の近くへ引っ越す、宅配サービスを利用する、タクシーを利用する、健康に気を付ける、自転車や徒歩での移動でまかなう、考えていない、わからない…など)

問3 阪神本線の駅やその周辺での移動やまちについてお尋ねします。



1) あてはまるところに○をしてください。

	ほぼ毎日	週に数回	月に数回	年に数回	ほぼない
鉄道(阪神芦屋駅)を利用					
鉄道(阪神打出駅)を利用					
沿線での買物や食事、通院など					
沿線での散歩や散策					
市役所、警察署、体育館など公共施設での用事					
その他()					

2) このエリアにおいて、移動に関する不便さや望むことなどがありますか。あれば、どのようなことかお書きください。

(記入例: バスの本数が少ない、踏切での待ち時間が長い、駐輪場が使いにくい、駅周辺の道路が狭く通行しにくい、自転車が走りにくい、歩いていて休憩できるスペースがもっと欲しい…など)

